

月形町社会福祉協議会 第2期 あずましプラン評価結果（平成30年2月14日実施）

基本目標 1 あったかい心を育てる福祉でまちづくり

基本計画1	目標達成のための項目	目標達成の考え方	実施する事業・活動	実施内容	評価
福祉への関心を高める	あずまし計画を町民主体で推進	町民主体の活動を促進する事業実施と評価を行う	あずましプラン推進会議の設置と運営	委員15名、オブザーバー3名 去年6月20日に開催してあずましプランについて話し合い、情報共有している。	① 3.4
	住民座談会の開催	地域福祉を進めていくうえで中核となる町内会との協働体制を強化する	町内会、各団体へ座談会の開催と運営	座談会としての実施はできていない。 区長や行政区代表で構成されている運営協議会を3月予定	② 2.2
	町民が集うフォーラムの開催	実践報告と福祉意識の啓発、福祉課題の共有化を促す	町民フォーラムの開催	あずましプランについて報告、子どもサミット、社会福祉法人5施設によるパネルディスカッションを実施。 1月27日開催：63名参加	③ 4.1
	子どもからのメッセージ発信	まちの未来を担う子どもたちに福祉意識の啓発と発表	子ども・未来・まちづくりサミット	町民フォーラムの中で先駆けとして開催 福祉の総合学習で関わった小・中学生9名が発表している。	④ 4.0

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない

福祉への理解を深める	地域福祉活動の充実	福祉活動に関心を持ち、理解し、福祉施設等と協働した福祉でまちづくりの参画意識を高める	認知症サポーター養成研修会の開催	ボランティアスクールで開催予定（2月25日）	⑤ 2.5
			福祉講演会の開催	傾聴セミナー開催（12月21日開催） 参加者：26名	⑥ 4.0
学習の機会を提供する	福祉活動の促進と充実	地域福祉について理解し様々な人たちとの出会いやふれあいを通して福祉の担い手を育成する	小・中・高校生福祉総合学習	※詳細については別紙参照	⑦ 4.3
			ボランティアスクールの開催	夏（8月）と冬（3月）に2回開催 『月形の歴史について学ぼう』（夏） （8月20日開催）参加者：30名 『認知症サポーター養成講座』（冬） 2月25日開催予定	⑧ 3.8
学習の機会を提供する	福祉活動の促進と充実	地域福祉について理解し様々な人たちとの出会いやふれあいを通して福祉の担い手を育成する	アクティブボランティア養成研修の開催	・年5回開催 ①10月31日：認知症サポーター養成講座（4名参加） ②11月16日：レクリエーション（6名参加） ③11月29日：障がい者・高齢者への理解（6名参加） ④12月8日：実習（愛光園）（6名参加） ⑤12月21日：傾聴・コミュニケーションについて（5名参加）	⑨ 4.1
			世代間交流会の開催	・3回開催 ①8月7日：流しそうめん＆フラワーアレンジメント（89名参加） ②12月10日：そば打ちとしめ縄づくり（60名参加） ③1月16日：もちつきとビンゴゲーム（85名参加）	⑩ 4.5
福祉の人づくりを進める	目的に応じた人材の育成発掘	ボランティアセンターを充実し、地域福祉を支える知識やスキルを高め、地域に貢献する人材を発掘する	・生活支援のための人材育成と発掘	ホームページにて生活支援サービス支援者募集やボランティア向け研修会の紹介	⑪ 3.6
			・スキルアップ研修会開催	5年未満の福祉施設・事業所、行政職員等を対象に開催 11月24日開催：『コーディネーションスキルについて』（17名参加）	⑫ 4.3

月形町社会福祉協議会 第2期 あずましプラン評価結果（平成30年2月14日実施）

基本目標 2 ずっとここで幸せに暮らしていける仕組みづくり

基本計画2	目標達成のための項目	目標達成の考え方	実施する事業・活動	実施内容	評価
一人ひとりの存在を大切に	相談支援の充実	気軽に相談できる体制と住民周知を行う	心配ごと相談	相談件数：1件 相談内容：高齢者同士のトラブル（民生委員から相談）	① 3.5
			福祉総合相談	相談件数：4件 相談内容：お金の管理について、今後の高齢者独居生活について（本人、サポートセンター、家族から相談）	② 3.8
	防犯、防災に関する支援	災害時等の支援ネットワークづくりを進める	SOSネットワークシステムの活用	警察、福祉課と対象高齢者等の情報共有（SOSネットワークシステムの活用周知）	③ 3.3
			「見守り推進事業」の対象者への支援	行政区、町内会等へ対象者の周知	④ 3.9
			福祉施設との連携強化	避難施設について各施設と情報共有している	⑤ 3.6
独りぼっちにしない	地域福祉を進めていくための事業の充実とまちのイベントへの参画	高齢者、障がい者、幼児（母親）、子ども等との交流機会の充実と、まちづくりの場に参加することの一体感を持つ	ふれあい昼食会 配食サービス利用者を対象に、食生活の状況や意見を把握や利用者同士での交流を図ることが目的 ・年3回開催 第1回（7月11日）参加者：10名 第2回（11月16日）参加者：9名 ※第3回は3月開催予定	⑥ 4.2	

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない

交流する機会と場をつくる	地域でのふれあいサロンの運営支援	一人ひとりが役割を持って主体的に関り、子どもから高齢者、障がい者誰もが参加できる仲間づくり活動を進める	あずまし食事会	1月23日に第1回目の食事を開催している。食事はボランティアさんに作ってもらっている。 ・開催頻度：毎月 ・参加者（第1回）：37名参加	⑦ 4.4	
			世代間交流会（基本計画1再掲） まちの様々なイベント等の参加	・3回開催 ①8月7日開催：流しそうめんとフラワーアレンジメント（89名参加） ②12月10日開催：そば打ちとしめ縄づくり（60名参加） ③1月16日開催：もちつきとビンゴゲーム（85名参加）	⑧ 4.6	
			・町内会でのサロン開設	※詳細については別紙参照		
	交流する機会と場をつくる	地域でのふれあいサロンの運営支援	一人ひとりが役割を持って主体的に関り、子どもから高齢者、障がい者誰もが参加できる仲間づくり活動を進める	・土曜日サロン（障がい者）	・開催頻度：月に2回（第1・3土曜） ・今年度：19回開催 ・参加者：230名（平均12名）	⑨ 4.4
				・まんまるカフェ（母子）	・開催頻度：年3回 ・今年度：2回開催（次回3月予定） 第1回（6月26日）：22名 第2回（8月1日）：16名	⑩ 4.3
				・男の料理教室	・開催頻度：2カ月に1回（偶数月） ・今年度：5回開催 ・参加者：48名（月平均9名）	⑪ 4.3
				・介護者サロン	30年度より実施予定 サロン開設に向けてアンケート調査などの準備を進める	⑫ 2.3
	あずまし交流プラザの拠点整備	介護予防を主とした町民が主体的に運営する拠点を作る	・あずまし交流プラザ拠点の設置と運営	H29年3月より『あずまし茶屋』開始 ・開催頻度：毎月第4火曜に開催 ※詳細については別紙参照	⑬ 4.2	
地域での支え合い・助け合いの仕組みをつくる	地域や近隣での助け合い、支え合い活動の促進	「地域包括ケアシステム」を進めていくためのコミュニティ機能を充実していく	・地域見守り推進事業（町委託事業）	・見守り対象者：73名 ・見守りサポーター：13名 対象者73名のうち、37名をサポーターが担当、残り36名を社協で見守りしている。	⑭ 4.2	
			・生活支援コーディネーターの配置（町委託事業）	平成27年4月より配置 コーディネーター：職員1名（社協）		

月形町社会福祉協議会 第2期 あずましプラン評価結果（平成30年2月14日実施）

基本目標 3 まちに広がる笑顔のサポート体制づくり

基本計画3	目標達成のための項目	目標達成の考え方	実施する事業・活動	実施内容	評価
困りごとに気づく	住宅サービス事業（社協サービス事業）の充実	高齢者や障がい者の日常生活を維持するための福祉サービスを展開する	除雪サービス（町受託事業）	登録者：37名 委託業者：就労A型事業所 サトニクラス（平成29年度新規委託） 実施回数：実人数 10名、実施回数53回	/
			配食サービス（町受託事業）	利用者：116名 配食回数：1,363回（週3回 月・水・金 夕食配送） 配食業者：くうべえ 配食ボランティア：3名	/
			福祉有償運送	登録者：113名 延べ運行回数：596回	/
			生活支援サービス（有償含む）	登録者：2名 登録ボランティア：なし 実施回数：14回 実施内容 ゴミの分別、買物代行	/
			日常生活自立支援事業（道社協受託）	利用者：3名（高齢者1名、知的障がい者2名） 生活支援員：2名	/

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない

必要な情報を提供する	相談窓口の周知と相談事業の充実	住民の意向として気軽に相談できる体制整備が求められており充実を図る	心配ごと相談	相談件数：1件 相談内容：高齢者同士のトラブル（民生委員から相談）	/
			福祉総合相談窓口の周知	相談件数：4件 相談内容：お金の管理について、今後の高齢者独居生活について（本人、サポートセンター、家族から相談）	/
	生活困窮者、低所得者への支援	貸付事業を行う	道社協生活福祉資金貸付（相談申請業務） 社協生活福祉資金貸付（社協独自事業）	道事業 相談：1件 貸付者：なし 町事業 相談：2件 貸付者：1件	/
適切なサービスに結びつける	地域包括ケアシステムの構築	高齢者、障がい者、子ども等へのサポート体制を作るためのサービス整備を行う	生活支援体制整備事業への協力	協議会協力：2回開催（町内の買い物支援について検討、応援フェアの開催）	① 3.8
			生活支援コーディネーターの配置（計画2再掲）	平成27年4月より配置 コーディネーター：職員1名（社協）	/
必要なサービスを提供する	介護保険、障害者総合支援法による事業の充実	本人、家族、専門職、医療との連携による介護サービス、自立支援サービスを提供する	訪問介護事業	利用者：20名 延べ利用時間：993時間	/
			居宅介護事業	利用者：12名 延べ利用時間：1,095時間30分	/
			移動支援	利用者：31名	/
			地域活動支援センター	利用者：10名 延べ利用回数：945回	/

月形町社会福祉協議会 第2期 あずましプラン評価結果（平成30年2月14日実施）

基本目標 4 しっかりスクラム組んで思い合う協働のネットワークづくり

基本計画 4	目標達成のための項目	目標達成の考え方	実施する事業・活動	実施内容	評価
各機関・団体と協働する	行政区、町内会との協働	地域福祉の推進の基盤は町内会活動であり、理解と協力、そして事業の協働化を目指す	住民座談会の開催・運営（計画1再掲）	座談会としての実施はできていない。区長や行政区代表で構成されている運営協議会は3月予定	① 4.1
			福祉情報の提供	ホームページ：毎月5日更新 広報誌「ふれあい」：3回発行	
	民生・児童委員との協働	地域福祉の担い手であり、日々福祉ニーズを把握していることから、当事者の自立を高めるために、協力体制を強める	・地域の実態や福祉ニーズの把握、そして支援のあり方など情報の共有化と活動	定例協議会社会参加 配食サービス、除雪サービス、見守り事業 対象者との情報共有、申請支援	② 3.9
			・民生児童委員協議会への参加		③ 3.5
	行政との協働	社協の事業、人事態勢も含め行政機関との連携を行う	・社協基盤の整備	・理事、評議員新体制 ・社会福祉法人制度改正による組織体制の明確化、3ヵ月毎の事業報告の実施 ・職員については28年度より職員配置変更。専門職、介護職の募集	④ 3.7
			・あずましプランの推進	・実施計画による事業実施状況についての確認と事業実施	⑤ 3.6
			・地域包括ケアシステムの構築	・月形町総合保健福祉計画策定への協力	⑥ 3.7

※評価基準 5. 効果があった 4. よい 3. 実施した 2. 検討準備 1. 全く手をつけてない

各機関・団体と協働する	福祉団体、関係機関、各種団体、NPO法人、ボランティア団体等との協働	町内にある様々な機関、団体が、福祉でまちづくりに、主体的に参画、活動する環境づくりを行う	・地域福祉ネットワーク推進協議会の実施（年4回）	協議会：3回 視察研修：1回 南幌町保健福祉課視察 世代間交流会 3回実施	⑦ 4.2
			・福祉団体・関係機関等との連携	・ボランティア、研修会の参加依頼 ・福祉団体イベントの協力	⑧ 3.7
住民同士で話し合う	住民主体による在宅ケアづくり	・ボランティアのネットワークづくりを行う	・ボランティアセンターの充実（計画1再掲）	・誰もが参加できる体験プログラムの提供（ボランティアスクール） ・ボランティアリーダーの育成と仲間づくり（アクティブボランティア）	⑨ 2.2
			・ボランティア団体による連絡協議会設置	町内のボランティア団体の把握と説明が進んでいない。3月までに行いたい。	
地域の社会資源をつなぐ	必要な資源づくりの整備と活用	住民の意見や活動に応えるよう、あずましプランを推進する	・在宅ケアに係る住民の有償サービス検討	有償の生活支援サービスを行っているが、利用者、担い手共にいない状況。周知不足。有償サービスの説明をすると断られるケースが多い。アンケート等からも、もっとニーズがあると思われる。	⑩ 2.5
			・関係法人・団体と事業開発	あずまし会議：1回開催（社会福祉法人、医療法人、NPO法人、町保健福祉課参加）町のニーズや各法人の地域貢献活動の協力について協議を行う。	⑪ 2.9
住みよいまちづくりを提案する	社協体制を強化（人・もの・金）	職員の資質向上と実施計画に基づく推進広報活動充実による福祉情報提供の強化	・あずまし会議設置		⑫ 3.7
			・法人体制の強化	役員研修の実施：4回 職員研修：毎月実施 職員会議：毎月実施 規定、規則、細則の制定、一部改正7つ	⑬ 4.2
			・一人ひとりの課題に合ったコーディネーション能力の育成	各事業内容について担当制の実施	⑭ 2.8
			・あずましプラン実施計画の作成、実施及び見直し	委員15名、オブザーバー3名 去年6月に開催してあずましプランについて話し合い、情報共有している。	⑮ 3.3
			・社協だより「ふれあい」の発行（年4回） ・ホームページ等での情報発信	ホームページ：毎月5日更新 広報誌「ふれあい」：3回発行	⑯ 4.0